



先

日、霧島ヶ丘公園へコスモス畑の迷路、とつてもきれいですね。お天気も良く、たくさんのコスモスが風に揺れて心がほんわか癒されました。(あずさん・女性)

かわいいコスモスを見ていると心が癒されますよね。霧島ヶ丘公園のコスモス迷路は、昨年に開催された、国民文化祭の来場者をもてなすため初めて登場しました。一本一本は可憐なコスモスですが、広大な敷地に咲く風景はとて見応えがありますよね。そして今年の迷路は、バラをかたどり芸術的な要素も加わっていましたので、一目見ようと大勢の皆さんがミニ展望台に上って、写真に収めている姿を見かけました。それからコスモスの名所と言えば、南町の田んぼも有名です。来年はぜひこちらもご覧いただきたいと思いま

す(今月号の10、18ページに掲載しています)。



広

報かのやが以前よりも見栄え、読みごたえがあって、仕事に持って行き休憩中にじっくり読ませて頂いています。豚ばら丼、カンパチ口ウ、C&Kなど今、鹿屋に勢いが出ている!!と感じています。私も頑張つてPRしていきます。(Y・Yさん・41歳・女性)

いつも読んでいただき、ありがとうございます。地域を盛り上げるためには、行政だけでなく市民の皆さんの協力が不可欠です。鹿屋市の勢いを感じられるのは、そんな協力的な皆さんを目にする機会が増えてきたからなのかもしれません。市民が自分のまちを愛し、地域社会に協力参加してもらえよう、広報かのやで、多くの笑顔と情報をお届けしていきたいと思えます。

鹿

屋の良さを発信する各種フォトコンに、今回も知人たちの素晴らしい写真が上位に掲載されており、元写真友として嬉しくなりました。人知れず努力して作品に仕上げた彼らの姿を私はよく理解しています。鹿屋の魅力を知らの行動力と感性にエールを送ります。(まっちゃんさん・65歳・男性)

フォトコンテストの入賞作品を見ると、そのときの瞬間を切り取ったものでありながら、被写体の魅力だけでなく、周囲との関係性など、撮影者の思いが見えてきます。作品のメッセージ性だけでなく撮影者が被写体を撮るまでの間、どんな時間を過ごし、どんな技術を用いたのかを読み解くのも楽しいかもしれません。

転

勤族で鹿屋に移り住んで1年半が経ちました。子どもがまだ小さく、慣れない場所での子育ては、なかなか思うようにはいかないこともありましたが、風土なのか温かい人が多く、今では多くの友人と各種イベントにも積極的に参加できるようになりました。鹿屋に居られるのもあと3か月。最後まで楽しませていただきます!(A・Yさん・36歳・女性)

お便りありがとうございます。慣れない場所で環境の変化だけではなく、土地の文化や風習、方言などで心労が絶えなかったのではないかと思います。その中で多くの友人を作られ、いろいろなことにもチャレンジされたことに頭が下がります。残りわずかですが、鹿屋市を存分に楽しんで良い思い出を作ってくださいね!

×キリトリ線

8 9 3 - 8 5 0 1

No.263

市民の皆さんからのお便りを募集

広報誌への感想や、市へのご意見のほか、地域のイベントや出来事、お勧めスポットなど多くの情報もお寄せください。

お便りをいただいた方の中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしています!

※掲載時に、原稿の一部を手直しする場合もございます。

〒 893-8501 鹿屋市共栄町 20-1 市政推進課

「市民のひろば」係

☎ 0994-31-1123



お手数ですが
52円切手を
お貼りください

鹿屋市役所 政策推進課
Kanoya 「市民のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢／性別

歳 男 ・ 女

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

要 ・ 不要